

事業番号	13 01 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	電気事業	部局	企業局	課・室	電気事業課		
		実施期間	S33 ~	E-mail	kigyo@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係							
重点目標	⑧再生可能エネルギー自給率						
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進	3-1 信州と関わりを持つ「つながり人口」の拡大		4-5 地球環境への貢献			
	2-2 地域内経済循環の促進	4-1 県土の強靱化					

1 現状と課題

・発電所の平均的な償却年数（建設から40年）を経過する発電所が9箇所あることから計画的な老朽化対策が必要。
 ・再生可能エネルギーの供給拡大のための新規電源開発を積極的に進め、固定価格買取制度の適用による経営の安定化に取り組むことが必要。

2 事業目的

『脱炭素社会に向け、長野県の豊かな水資源を活かす水力発電により、「再生可能エネルギーの供給拡大」と「エネルギー自立分散型で災害に強い地域づくり」の具現化を図るとともに、電力の安定供給のため、未来に向けて積極的に投資』
 ・新規発電所の建設と基幹発電所の改修等に取り組み再生可能エネルギーの供給を拡大
 ・スマート保安の推進とともに地域連携水力発電マイクログリッド構築等による大規模災害時の電力供給を検討
 ・企業局電力のブランド化による電力の地消地産と大都市圏との連携の推進、これからの売電のあり方を検討
 ・先端技術等を活用して中山間地域の課題解決を図るため、企業局の発電所立地市町村の取組を支援
 ・利益の水力発電供給拡大への投資と一般会計繰出による「こどもの未来」への支援 など

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

- ① 未来への投資・先端技術の大胆な活用
- ・新規電源開発 13か所（新規電源開発地点発掘プロジェクト候補地点含む、6か所の建設事業推進、7か所の調査を推進）
 - ・大規模改修等 5か所（美和、春近、与田切、小渋第3、豊丘）
 - ・先端技術を用いた次世代運転監視制御システム等の導入等によるスマート保安の加速
- ② リスクマネジメント
- ・長期停電にも対応可能な発電所自立運転機能付き発電所建設の推進
 - ・地域連携水力発電マイクログリッド構想の実現に向けた研究
- ③ 地域への貢献・地域との連携
- ・「水の恵みを未来へつなぐ交付金」による企業局の発電所立地市町村への財政支援
 - ・県が行う「こどもの未来」への支援の取組みに対し、一般会計に繰り出し

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度目標値	達成状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	経常収支比率	%	134.0	126.2	↘	143.5	↗	104.4	達成	「長野県公営企業経営戦略」（平成28年2月策定、令和2年度改定）に基づく指標。財政計画に基づき経常収支比率100%以上を維持し利益を確保	
②	損益	千円	906,598	738,004	↘	1,178,184	↗	149,776	達成	「長野県公営企業経営戦略」（平成28年2月策定、令和2年度改定）に基づく指標。財政計画に基づき経常収支比率100%以上を維持し利益を確保	
③	大規模改修を行う発電所数（工事着工）	か所	2	3	↗	6	↗	6	達成	契約済みで設計中の大規模改修工事の着実な進捗	
④											
⑤											

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計（予算現額）	うち一般財源		
R4年度	1,606,666	13,364,905	441	14,972,012	0	8,743,803	66.0
R3年度	517,168	10,259,986	18,723	10,795,877	0	7,540,314	64.0
R2年度	1,282,212	7,717,547	44,987	9,044,746	0	7,521,472	57.0

事業番号	13 01 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	電気事業	部局	企業局	課・室	電気事業課			

6 主な取組実績と成果

再生可能エネルギーの供給拡大

- ・新しい水力発電所の建設 6か所（設計中含む）
- ・調査中の候補地点 5か所
- ・大規模改修等 5か所



候補地点における調査の様子

電気事業利益を活用した地域貢献

- ・「こどもの未来」への支援の取組に対し、一般会計へ繰出し（こどもの未来支援積立金 20百万円）
- ・発電所立地市町村の先端技術を活用した行政サービス高度化等を交付金により支援（6市町村）

再生可能エネルギー実証モデル事業

- ・100%再生可能エネルギー由来の水素ステーションによる新たな事業可能性の検証



水素ステーション

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	経常収支比率	R3年度推移	↓	R4年度推移	↑	達成状況	達成
達成の要因は、電力料金の単価上昇及び各種管理費の減が挙げられる。引き続き、売電契約については市場動向を踏まえた契約に努め、各種管理費については更なる見直しによる経費縮小に努めていく。							
指標②	損益	R3年度推移	↓	R4年度推移	↑	達成状況	達成
指標①の分析のとおり							
指標③	大規模改修を行う発電所数（工事着工）	R3年度推移	↑	R4年度推移	↑	達成状況	達成
令和4年度は、春近発電所、与田切発電所、小渋第3発電所の現場工事に着手した。今後は、令和3年度より建設部から移管された奈良井発電所及び松川ダム発電所の大規模改修事業について検討を進めていく。							
指標④		R3年度推移		R4年度推移		達成状況	
指標⑤		R3年度推移		R4年度推移		達成状況	

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題
<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーの供給拡大については、建設中発電所について、資材等の価格高騰に対し迅速に対応することが必要。 ・発電所の平均的な償却年数（建設から40年）を経過した発電所の計画的な老朽化対策に取り組むことが必要。
(2) 翌年度以降の事業改善の方策
改修期間中の減収等を考慮し、既設発電所の改修を計画的に行う。また、新規発電所の建設の可能性を検討し、経済性が確認された地点について建設を進める。

事業番号	13 01 01	細事業一覧（令和4年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	電気事業		部局	企業局	課・室	電気事業課

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	電気事業		7,521,472 千円	7,540,314 千円	8,743,803 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	地域に貢献する電源開発の推進	直接 委託	再生可能エネルギーの供給拡大のため、新規発電所の建設、既存発電所の大規模改修、市町村等の開発支援（小水力発電事業性評価や建設工事の受託、水力発電推進研究会）等を実施 新規発電所：設計・建設：6か所 大規模改修：設計・改修：5か所		
2	災害時（非常時）における電力供給体制の検討等	直接 委託	・停電時にも自立運転可能な発電所の整備 ・災害時に地域の防災拠点等への電力供給を可能にするため、地域連携マイクログリッド構築に向けた検討を実施（実施スキームの検討・発動ルールの作成等） 自立運転可能な発電所数：1か所		
3	次世代監視制御ネットワークを活用したスマート化の推進	直接 委託	・先端技術を活用した発電の効率化とリスクマネジメントを行うため、次世代監視制御ネットワークを活用したスマート保安を推進 次世代監視制御ネットワークの基礎システム構築 A Iを活用した水力発電所運転計画支援システム構築 発電施設統合管理システム構築		